

急性期病院の担当医・地域連携室の皆様へ

北大阪ほうせんか病院回復期リハビリテーション病棟の症例受け入れ基準

北大阪ほうせんか病院の回復期リハビリテーション病棟では、円滑な症例受け入れおよび病棟運営を図るため、下記の基準により患者様を積極的に受け入れますので、どうぞご利用ください。

1. 北大阪ほうせんか病院回復期リハビリ病棟での受け入れ疾患

■回復期リハビリ病棟の対象と定められている下記の疾患を受け入れます。

- ① 脳血管疾患、脳外傷、脳腫瘍、脊髄損傷等の発症または手術後
- ② 大腿骨・骨盤・脊椎・股関節または膝関節の骨折または手術後
- ③ 大腿骨・骨盤・脊椎・股関節または膝関節の神経・筋・靱帯損傷後
- ④ 心大血管疾患リハビリ適応疾患： 急性心筋梗塞、狭心症(PCI 後を含む)、開心術後、経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)後、大血管術後、急性大動脈解離保存的治療例
- ⑤ 外科手術または肺炎等(心不全・尿路感染症等も含む)の治療時の安静により生じた廃用症候群

2. 受け入れ困難例の基準

■原則として以下の状態での受け入れはできません。

- ① 重症心不全(血行動態不安定、静注強心薬投与中など)または重症呼吸不全(人工呼吸器装着中、酸素 5L/分以上吸入中など)
- ② 重症または特別な感染症(静注抗生物質長期投与、疥癬など)
- ③ リハビリ以外の専門的治療が必要な状態(創傷、難病、血液透析、緩和ケアなど)
- ④ 重度認知症等でリハビリ拒否や BPSD(暴力・叫び声・徘徊・拒薬など)が強い場合
- ⑤ 直近の身体所見： 直近 2 日間で全身状態が安定し、発熱(38.0℃以上)・嘔吐・高度下痢・下血・明らかな創部感染・胸水貯留(中等量以上)・浮腫(中等度以上)を認めないこと。これらを認める場合は、「受け入れ保留」とし改善後に受け入れ可能です。
- ⑥ 直近の検査所見： 白血球増多(15,000 /mm³ 以上)、CRP 高値(10 mg/dL 以上)、高度貧血(Hb 7 g/dL 未満)を認めないこと。これらを認める場合は、「受け入れ保留」とし改善後に受け入れ可能です。但し、CRP は 5~10mg/dL かつ下降傾向であれば受け入れ可能とします。

3. 要ご相談症例

■以下のケースは要ご相談となります。

- ① 心不全・末梢動脈閉塞性疾患(ASO/LEAD)・肺高血圧症： 「急性心不全、慢性心不全、肺高血圧症、または末梢動脈閉塞性疾患(ASO/LEAD)」症例は、厚労省の基準(2025 年時点)では回復期リハビリ病棟の対象疾患に含まれていないため、「廃用症候群リハビリ」として受け入れます。しかしリハビリ内容としては、50m 歩行可能(補助具使用可)となった時点で循環器チームが心臓リハビリプログラムの内容を実施します。
- ② 高額治療薬： 原則として投与薬の 1 日当たり薬価は 5 千円以下をめやすとさせていただきます。

きます。1日当たり薬価合計が5千円以上の症例は要ご相談となります。

- ◎ 北大阪ほうせんか病院回復期リハビリテーション病棟では、地域の皆様のニーズにお応えするため、可能な限り積極的に患者様の受入れを行い、シームレスな家庭復帰・社会復帰をめざしたりハビリをおこないますので、ご遠慮なくご相談ください。

連絡先：

北大阪ほうせんか病院 地域連携室

〒567-0052 大阪府茨木市室山 1-2-2

TEL：（連携室直通）072-643-6929 （代表）072-643-6921

FAX：（連携室直通）072-643-2768

E-mail： renkei@seiwa-h.org

（2025/10/24 改訂）